琉球大学学術リポジトリ

第5回総会を終えて

メタデータ	言語:
	出版者: 南方資源利用技術研究会
	公開日: 2014-10-26
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 國府田, 佳弘
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017520

第５回総会を終えて　　会長　　國府田佳弘

第５回の総会及び研究発表会もおかげ様で無事終了いたしました。延べ参加者数は１００人に達し、会員総数の７割強という他の学会・研究会から見れば思いもよらない良い出席率でした。会員の皆様の御熱意と本会の主旨が時宜を得たものであることによるものと存じます。それともうひとつ、本会が年々会員数を増やしながら発展しスムースに運営されている理由のひとつに、会務、行事を支えている若い幹事さん達の献身的な努力があります。併せてお礼申し上げます。

今回の研究発表８題は大変バラエティに富んでおりまして、従来の学会等の専門分野から見ますと内容に統一がないように思われるかも知れません。然し、理学だの工学だのという分野の分けかたは日本では明治時代に帝国大学理科大学、農科大学というのを設置したときに由来するものです。また植物学とか化学とかいう分けかたに至ってはさらに何百年か前の分けかたでありまして、現代の技術にはこれに拘泥していてはとうてい対応できません。目的に対して広い分野の人が集まって対処して行くのが現代の学問・技術の進めかたです。例えば、科学技術庁の振興調整費による大型プロジェクトには様々な分野の人が加わり、また文部省の特別研究など大型の科学研究費によるプロジェクトには所属学部等にかかわりなく広い範囲の人が参加して目的を果しております。本会も熱帯・亜熱帯の資源の効率的な利用技術に結び付くものを広く取り上げて、手を取り合って進めて行こうというのが主旨ですので、会員の皆様も、外部のかたで上のような疑問をお持ちの方が居られましたら御説明を

お願いします。

ここで、本会の今後の課題についてお話ししておきたいと存じます。まず、会員待望の研究会誌が発行され、いくつかのお褒めの言葉をいただいています。編集に関与した皆様のたまものです。創刊号は著名な方々の総説が中心になりましたが、今後原著論文を主体にしていかなければなりません。皆様の御投稿と御協力をお願いします。本会誌が単にローカルな研究会誌としてではなく、全国的なものとして認知される方向に進めて行きたいと存じます。次に、大きな宿題としまして、先年本会が中心になって開催しました国際シンポジウムは3年に1度開くことになっておりますので、これをやらなければなりません。関係者と協議を進めております。

運営面での課題は役員の選出方法です。現在会長、理事等の役員は理事会で候補者を内々に選んで総会の御承認をいただいておりますが、今後は投票などの方法で直接会員が候補者を選ぶ方法を検討して行きたいと思っております。来年は改選時期でもありますのでこれに間に合うようにいたしたいと存じますので御協力のほどお願いします。